

一般社団法人 日本写真測量学会 関西支部
『第13回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』開催報告

日本写真測量学会関西支部では、平成29年9月29日（金）に、大阪府立大学 I-site なんば（大阪市浪速区）にて『第13回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』を開催した。本発表会は、30歳以下の技術者・研究者が発表や意見交換を通じ、研究を発展させていくことを目的としている。本年度は大学や企業から学生11名、社会人5名の計16名の発表があり、46名の参加のもと開催された。

発表は、「学生セッション」と「社会人セッション」、本年度の新たな試みである「英語セッション」に分けて実施した。英語セッションを設けた目的は、国際会議等で英語のプレゼンテーションに挑戦する若手技術者・研究者のために、英語で発表し、質疑応答する機会を提供するためである。

年々レベルの向上が見られる本発表会であるが、今年はさらにレベルの向上が顕著であり、すべてが甲乙つけがたい発表であった。会場からも、分析・解析方法に関する質問や今後の研究の進め方に関する助言などが出され、活発な発表会となった。なお、本発表会では、例年、本支部役員の審査に基づき優秀研究発表賞を授与している。今回は、以下に記す3名に優秀研究発表賞を、さらに特に優秀だった1名に最優秀研究発表賞を授与した。

最優秀研究発表賞

遥山 里佳（株式会社パスコ）

優秀研究発表賞

宮垣 亮汰（京都大学大学院）

日下部 哲（京都大学大学院）

出石 裕之（株式会社パスコ）

また、英語セッションで発表した6名（最優秀研究発表賞受賞者を除く）には、国際会議発表奨励報奨を授与した。

本支部では、来年度以降も同様の技術発表会を継続していく予定である。支部役員一同、多くの若手技術者・研究者の参加をお待ち申し上げる。



受賞者：左から吉村副支部長、出石氏、宮垣氏、遥山氏、日下部氏、柳川関西支部長



発表会の様子